

(11) 鬼北ブロック（鬼北町、松野町）

～産地づくり～

「水稻」は、新品種の導入や主食用米の需要に即した生産に努めるとともに、スマート農業を推進し、生産振興を図ります。果樹では、特産の「ゆず」について地域品種の普及を図り、「くり」「もも」については、(株)源吉兆庵への安定供給を実現します。また野菜においては、「きゅうり」の産地復活を後押しし、需要拡大が見込める軽量野菜生産の振興を図るとともに、農地の整備を進め、新たなビジネスや地域特産品の開発についても取り組みます。

～推進品目や産地づくりの方向～

○「水稻」の大規模経営体育成と優良農地集積に向けた環境整備

【取組】

- ①新品種「ひめの凜」の普及拡大に向け、現地栽培適応性の確認や、栽培講習会を通じた技術指導による品質向上対策を実施
- ②大規模経営体の育成に向け、ドローン防除や直播・密苗栽培等の省力化技術の導入に向けた実証試験を実施
- ③農業用水の確保と農村地域の防災・減災を目的に、ため池の改修や農業用排水路の更新を実施
- ④主食用の需要に即した生産、水田の有効活用を図るため、畜産農家と連携し、飼料米等の新規需要米の作付けを推進

【成果】

- ①ひめの凜栽培面積 R2:2ha → R3:3.5ha
- ②省力化技術導入に向けた実証試験の実施
(ドローン防除(4戸)、直播(1戸)・密苗栽培(1戸))
- ③ため池改修：3箇所、用排水路整備：3路線
農道整備1箇所
- ④新規需要米作付け
飼料用米作付 R2:19.6ha→R3:23.2ha
飼料用稲作付 R2:16.4ha→R3:14.9ha



ひめの凜栽培実証



密苗栽培の実証
(密苗田植え機による植付)

○ゆず「鬼北の香里」の産地化と高付加価値型栽培の実践

【取組】

- ①トゲの少ない有望品種「鬼北の香里」の導入推進による作業性の改善と園地の若返り
- ②付加価値を高めるため、有機JASに準じた栽培を推進
- ③生産者の高齢化に対応した栽培技術の実証と普及
- ④EUへの輸出基準に応じた栽培管理の実証やトラップ調査への協力等による販路拡大に向けた生果の海外輸出の取組推進

【成果】

- ①ゆず「鬼北の香里」導入本数：約3,400本（R3年）
- ①管内ゆず集荷量：1,560トン（R3年・前年対比93%）
- ②有機JAS栽培準拠農家：621戸（R3年産）
- ③縮間伐・低樹高化による作業の省力化実証（2ヶ所）
- ④ドイツへ生果を輸出：104kg
(参考：R元年フランスへの生果輸出30kg)



ゆずの縮間伐実証園



輸出用ゆずの
消毒・梱包作業

○加工用品種の栽培支援と(株)源吉兆庵への安定供給の確立

【取組】

- ①「くり」では、伐採林地を活用し、灌水・鳥獣被害防止設備を備えたくり大規模モデル園を設置し、早期成園化の実証や新規栽培者確保を推進
- ②「加工桃」では、排水対策モデル園を設置し、早期成園化の実証や収量向上を検討
- ③青玉収穫に向けた剥皮の試験と検討会を実施

【成果】

- ①「くり」：新規大規模生産者1戸（114a）
- ②「加工桃」：排水対策モデル園収量20kg/樹（3年生）
- ③エチレン追熟処理により、青玉で剥皮率97%の効果を確認（対照区60%）



剥皮試験検討会

○キウイフルーツ花粉ビジネス栽培へのチャレンジ

【取組】

- ①農業法人への働きかけと営農相談、町との連携等、新規栽培農家の掘り起こしを推進
- ②核となる農家の栽培技術の向上を図り、早期成園化を推進
- ③花粉の採取精製・検査・保管体制を支援

【成果】

- ①新規栽培候補者の掘り起こし件数：1件
- ②早期成園技術指導により、来年度から花粉収穫できるまでの樹冠拡大を達成
- ③農家、関係機関との花粉採取や精製等について講習会や研修会等を開催し、花粉の安定供給体制を構築



花蕾採取・精製講習会

○鬼北地域におけるきゅうり産地の再興支援

【取組】

- ①経営モデルの提示及び施設整備の検討、補助事業等の活用など一貫した支援による新規栽培者確保と栽培面積拡大を推進
- ②収益向上に向けた品種更新とハウス内部機能性向上を目的とした構造改修による誘引方法改善を推進
- ③労働時間短縮に向けた共選共販への誘導

【成果】

- ①新規栽培者：2人、栽培面積拡大：10a増加、計317a
- ②品種更新：半促成1品種決定
- ②ハウス内部改修：2ヶ所
- ③共選共販体制への誘導：4戸→23戸



ハウス内部構造改修

○地域の優れた特産品の育成

【取組】

- ①うめ
生産者の作業負担軽減のための技術実証や、新たな加工品の開発を支援
- ②鬼北熟成雉
新規生産者の掘り起こしや雌雄分離飼育実施による生育状況の検証

【成果】

- ①うめ
省力栽培実証ほ設置：2ヶ所
（春季摘心処理、収穫ネット利用方法）
加工品の開発：北宇和高校生（うめジャム）
- ②鬼北熟成雉
新規生産者（1戸）
傷物率の低下等の確認から雌雄分離飼育を推進



北宇和高校生が開発したうめジャム



飼育管理状況互評会

～地域づくり～

「水稻」では、規模拡大に伴う省力化技術の普及を図り、経営多角化や集落営農の組織化により、中山間地における「水稻」を中心とした農業経営の安定と地域農業の維持発展を目指します。また、農業支援センター等と連携し、認定農業者や女性等による6次産業化やグリーン・ツーリズムなど、多様な担い手が活躍できる地域づくりを推進します。また、荒廃農地拡大の最大要因となっている鳥獣被害対策に取り組むとともに、獣肉資源の有効活用に努めます。豊かな自然や豊富な食材等の地域資源を活用して都市との交流を促進します。

～推進対象や地域づくりの方向～

○大規模経営体の育成と競争力のある農業経営支援

【取組】

- ①各町及び農業公社と連携し、水田地帯での農地集積による荒廃農地対策を推進
- ②優良経営体の法人化を進めるため、各種補助事業や新技術の導入を図ったほか、人・農地プランに位置づけられた担い手を競争力の高い経営体に育成
- ③多面的機能を有する農地等の地域資源を適切に保全管理するため、地域ぐるみで取り組む共同活動を支援
- ④鳥獣被害の軽減を図るため、侵入防止柵設置や捕獲等による獣肉の有効活用を進めるとともに、加工施設の新設整備を推進

【成果】

- ①管内荒廃農地面積：30.4ha（前年▲4.4ha）
- ②規模拡大に伴う省力化技術の導入：4経営体、経営の多角化による各種補助事業の導入：1経営体
- ③共同活動
鬼北町：多面的機能支払21組織（416ha）、中山間地域等直接支払22組織（142ha）松野町：多面的機能支払15組織（191ha）、中山間地域等直接支払20組織（182ha）
- ④侵入防止柵の設置：12,923m、
- ④県内広域活用を視野に入れた獣肉加工施設の新設（鬼北町）
- ④「NPO法人 森の息吹」が鳥獣対策優良活動表彰の捕獲鳥獣活用部門で農林水産大臣賞を受賞（松野町）



ドローン防除による省力化



集落営農会議

○多様な担い手の育成（就農支援・集落営農組織体制整備）

【取組】

- ①認定農業者や農地所有適格法人の育成と、高齢化と兼業化に対応した就農支援や営農体制整備を推進
- ②地域おこし協力隊やUターン就農の促進を図るため、組織間の連携や就農しやすい環境整備を推進
- ③6次産業化等、高付加価値型農業経営の推進
- ④食農教育活動による次代の育成

【成果】

- ①重点対象の選定による認定農業者の育成：2戸
- ①集落営農推進会議開催：1集落
- ②新規就農者育成による個別支援：1人
- ③6次産業化に取り組む経営体育成：2経営体
- ④食農教育活動支援（小学校3校、各町中学校2校）



集落農業環境点検調査

○都市との交流促進（地域資源活用）

【取組】

- ①直売所等交流拠点を核とした「鬼のまち」「森の国」ブランドを育てると共に、拠点の整備・拡充や農林漁家民宿の開業支援
- ②農業の振興と都市住民との交流による地域活性化を推進

【成果】

- ①道の駅等直売所への魅力ある商品づくり研修会支援
- ①新規農林漁家民宿開業支援：1件
- ②各グリーンツーリズム協議会研修会の開催
- ②交流イベント開催支援



6次産業化商品開発